

おも 想いをかたちに 地域づくり活動補助金 公開事業提案会

豊かな公が
息づくまち

町は3月25日、情報交流館で地域づくり活動補助金の公開事業提案会を開催しました。審査員や一般の参加者など約50人が集まる中、3団体が事業案をプレゼンテーションしました。

この補助金は、町の皆さんの柔軟な発想による地域の活性化や課題解決、また、それに取り組むNPOやボランティア団体、自治会などの組織づくりを支援するために助成するもの。補助金は、スタートアップ補助金(上限10万円)、ステップアップ補助金(事業費の3分の2/上限30万円 ※過去2年間の交付団体を除く)の2種類。事業が始まった平成20年度からこれまで、延べ53団体に対し約650万円を交付しています。

今回の事業提案会で発表した各団体の事業案などをお伝えします。



紫凛会

講演を通じて、
多くの人に紫波町を
知ってほしい!

町の歴史や文化、名誉町民などの人物を紹介し、多くの人に町のことを知ってほしいです。今回は組織づくりを目標にしますが、今後“子ども講談”を立ち上げて、子どもたちが町の歴史に興味を持ち、歴史を伝えていけるようになればと考えています。

《審査員からのコメント》町の歴史や人物、文化などを「講談」というこれまでと違った切り口で伝えることに新鮮さを感じました。物語るシナリオを増やしていくことが歴史・文化を保存することにもつながると思いますので、仲間を増やし、歴史・文化を伝えようと町で活動している他団体とのネットワークを作ってほしいです。また、町外の講談団体との交流も深めながら、さまざまな機会に発表の場を設け、活動を継続してほしいと思います。子どもたちにも講談の良さや楽しさを伝えて、地域にたくさんの演者が生まれることを期待します。

発達が気になる子どもや障がいがある子どもへの療育支援に取り組むほか、家族のための情報交換会や勉強会などを開催しています。子どもたちの心と脳と体の土台作りを行うトレーニング体験を各地域で実施することで、子どもたちの成長を促し、可能性を引き出していきたいです。

《審査員からのコメント》発達が気になる子や障がいがある子が増えている中で、本人や家族へのサポートは地域全体で取り組むべきことです。そういった子どもたちにとって学校生活が楽しくなるように、周りの大人たちの見方を変えていきたいという思いが強く伝わってきました。子どもと親、家族と地域の関係性を強くし、障がいのある子もない子も、一緒になってトレーニングを進めることにより、理解が深まっていく取り組みだと思います。会員のスキルアップを図りながら養成講座でトレーニング指導者を増やし、仲間をたくさんつくってください。



子どもたちの
発達・成長・可能性
を引き出したい!

空色の たね



城山 桜まつり 実行委員会

四季を通じて
城山を活用
したい!

城山桜まつりのあり方と四季を通じた活用について地元有志で話し合いを行い、今年は地元住民主体の実行委員会が発足しました。眺望の改善なども行うことで、県内有数の桜の名所として知られる城山公園を、さらに多くの人に知ってもらいたいです。

《審査員からのコメント》城山公園に愛着を持ちながら活動してきた地元の皆さんが立ち上げた実行委員会で、桜まつりイベントの開催や交通渋滞の改善などについて話し合われてきたことを評価します。皆さんの「城山公園を大切に守っていきたい」、「多くの人に気持ちよく利用してもらいたい」という意気込みが感じられました。四季を通じて城山公園を活用する中で、いろいろな人や団体を巻き込みながら地域の活性化に貢献していただきたいと思います。

審査員を務めた 一般の皆さん

★菊地圭二さん(NPO法人紫波ing 理事) ★工藤睦夫さん(赤沢公民館 館長) ★久保康如さん(市民活動支援センター「ゆいっとサロン」スタッフ) ★幅野あゆみさん(一般公募委員 盛岡大学文学部4年 日詰地区在住) ★千田睦子さん(一般公募委員 日詰地区在住)

皆さんの声をお寄せください

町は、市民参加条例に基づき、市民と行政が協働でまちづくりを行うために、さまざまな施策において皆さんのご意見を聞く機会を設けています。平成29年度の市民参加の実施予定は下の表のとおりです。

■平成29年度の実施予定

市民参加する事項	対象事項の概要	市民参加の方法 (審議会などは名称)	実施予定時期	担当部署
紫波町地域福祉計画の見直し	地域福祉の総合的な推進を図るため、平成24年度に策定した計画を見直します。	意見公募	平成30年1月	町民福祉課
		地域福祉計画策定委員会	9月～平成30年2月	
紫波町障害福祉プランの見直し	障害者基本法に基づく障害福祉の総合的な計画と、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスや地域生活支援事業などの必要量の見込みを定める計画を見直します。	障がい者団体との懇談会	12月	町民福祉課
		意見公募	12月	
		計画策定委員会	11月、平成30年2月	
紫波町元気はつらつ高齢者計画の見直し	団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向け、中長期的な視点に立って、地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護予防および日常生活の支援、医療や介護のサービスの連携などを包括的に推進するため、計画を見直します。	アンケート調査	7月	長寿健康課
		意見交換会	平成30年1月	
		運営協議会(介護・地域包括支援センター)	5月～平成30年2月	
紫波町空家等対策計画の策定	空家の環境保全を図るため、空家の総合的な対策および活用方法について計画を策定します。	アンケート調査	平成28年12月～平成29年2月(実施済)	都市計画課
		意見公募	12月	
		空家等対策協議会	10月、平成30年2月	
紫波町地域防災計画の見直し	町全域、町民の生命、身体および財産を災害から保護するため、町および防災関係機関の機能を有効に発揮し、災害対応に万全を期するために必要な事項を定めるため、計画を見直します。	意見交換会	9月	消防防災課
		意見公募	12月	
		紫波町防災会議	平成30年1月	

■担当・問合せ 企画課 協働広報室 ☎672-2111 内線2320



子どもたちの可能性を引き出すMVC(メンタル・ビジョン・コーディネーション)トレーニング体験会を開催します〈平成29年度地域づくり活動補助金活用事業〉

楽しく体を動かし、普段なかなか使うことのない右脳や視覚を鍛え、子どもたちの可能性を引き出します。“心と体と知能”の三位一体といわれるMVCトレーニングを体験してみませんか。

■日時・会場・内容

- ・7月23日(日) 午前10時～正午 赤石公民館
MVCトレーニング体験会～目と身体の状態を知ろう～
- ・7月23日(日) 午後1時～3時 中央公民館
MVCトレーニング体験会～ビジョントレーニングと体幹～
- ・9月16日(土) 午前10時～正午
情報交流館 2階 アトリエスタジオ
MVCトレーニングセミナー「ビジョントレーニングからアプローチする学習能力と運動能力」

- ・9月16日(土) 午後1時30分～3時30分
情報交流館 2階 小スタジオ
MVCトレーニングセミナー

「保護者、支援者の関わり方～目と脳と心の関係～」

■対象 3歳～小学生

■参加費 200円(保険料込み)

■持ち物 内履き、水、タオル、着替え(必要な場合のみ)

■申込・問合せ 参加希望日時(複数可)と保護者の氏名、子どもの氏名(ふりがな)・年齢・性別、電話番号を記入し、メールで申し込み。または各地区公民館または情報交流館1階の市民活動支援センター「ゆいっとサロン」に提出。(様式自由)

空色のたね 鎌田 ☎090-1882-5751

✉kamataki@kcf.biglobe.ne.jp

町内在住のお子さんであればどなたでも参加できます